

平成16 (2004) 年1月3日

第 24 号

発行人 世田谷稲門会
発行人 土倉享一
編集 大須賀 肇

事務局 〒157-0072
東京都世田谷区砧8-19-15
寺澤隆夫方
TEL/FAX03-3415-1887

世田谷稲門会会報

「世田谷稲門会 新年懇親会」

平成十六年(二〇〇四年)
一月三十一日(土)

午後五時より「新年懇親会」
を「こまばエミナース」で左
記により行います。

アマコサトシ

(講師) 天児 慧

(早稲田大学大学院アジア大平
洋研究科教授社会学博士)

(演題)

「中国とどう付き合うか」

「ご家族同伴での多数の会員
各位のご出席をお待ちしてお
ります。」

詳細は「世田谷稲門会新年
懇親会のご案内」(別紙)をご
覧下さい。

今回は約一時間の左記講演
会の後午後六時より懇親会を
行います。

懇親会では豪華な賞品が当
たるビンゴゲーム等お楽しみ
催事を予定しております。ど
うぞご期待下さい。

「講演会」午後五時

「東京二十三区支部大会」
「白井総長を囲む会」

平成十六年二月十八日(水)
午後六時より

「リーガロイヤルホテル東京」
で講演会並びに懇親会が行わ
れます。

「講演会」
「早稲田大学この意欲的改革」
「どうするこの日本経済」

植草一秀早大
大学院教授

「懇親会」
東京二十三区
支部設立後始
めての総長を
囲む懇親会で
す。

白井克彦早大総長

「講演会」
「早稲田大学この意欲的改革」
「どうするこの日本経済」

植草一秀早大
大学院教授

「懇親会」
東京二十三区
支部設立後始
めての総長を
囲む懇親会で
す。

白井克彦早大総長

「講演会」
「早稲田大学この意欲的改革」
「どうするこの日本経済」

植草一秀早大
大学院教授

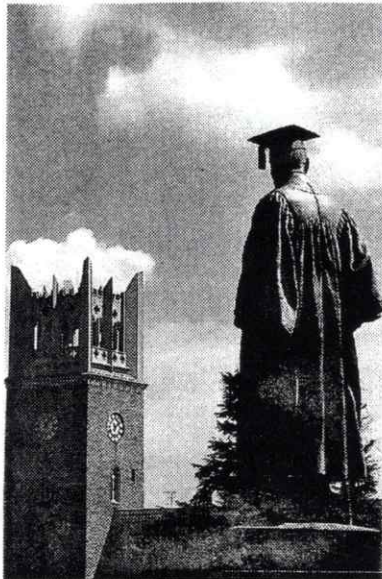
「懇親会」
東京二十三区
支部設立後始
めての総長を
囲む懇親会で
す。

白井克彦早大総長

「講演会」
「早稲田大学この意欲的改革」
「どうするこの日本経済」

植草一秀早大
大学院教授

「懇親会」
東京二十三区
支部設立後始
めての総長を
囲む懇親会で
す。



世田谷稲門会よりも多数の会
員のご参加をお願いします。
詳細は「白井総長を囲む会」の
ご案内(別紙)をご覧ください。

「平成十五年(二〇〇三)
夏 世田谷稲門会納涼
会」

八月二十三日午後六時、澁
谷クロスタワー(旧東邦生命
ビル)三十一階、北欧風スカ
イレストラン「オスロ」で開
催された。参加者八十五名

鈴木宏治副会長の司会で進
行。

土倉享一会長挨拶・乾杯の発
声で宴が始まった。

「早稲田ハワイアンバンド」
(ザ・ナレオ・ココナッツ・プ
ランテーション・トリオ)演
奏とフラチームのフラダンス
を楽しみながら歓談は弾み、
場は一気に盛り上がった。

スカンジナビヤ料理と飲み
放題のフリードリンク、窗外
の暮れゆく首都東京の眺望を
満喫しながら、くつろぎの時
は過ぎ、若々しい元応援部員
高松和彦氏のリードで校歌を
高らかに斉唱。午後九時名残
を惜しみつつ散会した。

(出席者)(敬称略)

秋元孝禧 麻生卓司 阿部信

之夫妻 井口劉一 石井孝之

夫妻 磯田稔夫妻 岩上健一

上田忠雄 上保幸夫 江原利

次 大須賀肇 岡本早苗 奥

田隆 小山田安弘 柏良子

加藤栄一 加藤礼子 川村保

夫 蒲原信一 岸田正和夫妻

木村滋 ※ スヴェトラナ・

ヴァシリユク 杏掛元砥 国

澤俊一 久保宏 熊本昭二夫

妻 郡山弘文 後醍院良一夫

妻 木下泰之 妹尾昭一 柴

田昇 鈴木宏治 鈴木敦子

斉田秀雄 清水明雄 清水廣

一 下條忠雄夫妻 島田実夫

妻 柴山哲男夫妻 関根昌一

夫妻 下谷内亮 齊藤正憲夫

妻子息 土倉享一 辻村ひろ

み 豊田恵之助 高橋和敏

高松和彦 寺澤隆夫 中川義

英 中西千可子 中島彪

成田秀久 武居達治 平井恒

夫夫妻 細澤勲 藤井秀彦

宮木甫夫人 森戸正力夫妻

武藤哲 守屋寧夫 真木郁夫

前原祖彦 三橋宏 守谷之男

山口進吾 保倉進 吉村豪介

安井規雄 矢田廣 和田全正

渡辺八郎 (大須賀肇/記)

※「会員のひろば」木村滋氏
書簡参照

「ホームカミングデー・稲門祭」

毎年恒例の「ホームカミングデー」は十月十九日(日)に開催された。

今年(昭和五十四・四十四・三十四・二十九)年に卒業された方々が招待された。

世田谷稲門会会員の招待者は当該年次卒業者の左記五十八名であった。

式典は十時より記念会堂(戸山キャンパス)で盛大に行われ、式典終了後、西早稲田キャンパス、大隈講堂、大隈庭園の各会場で稲門祭園遊会が行われ、早稲田キャンパスで懐かしい仲間とともに交歓の楽しいひとときを過ごした。

(世田谷稲門会会員招待者氏名)(敬称略)

(昭和二十九年卒) 岩沙脩・上保幸夫・岡村喬生・岡本一精・川井泰彦・北内健一・杓掛元砥・林田啓介・古谷哲雄・福本道治・平井恒夫・辻村ひろみ・後藤秀夫・小林梅春・佐藤喜重・※柴田昇・※寺澤隆夫・角晃・関国光・原口国平・※藤井秀彦・森戸正力・安井寿々代・守谷

之男(二十四名)

(昭和三十四年度卒) ※麻生卓

司・大月忠孝・加藤隆夫・※川村保夫・岸田正和・河野守・浜田康夫・犀川千代子・佐山順孝・柴山哲男・下条忠雄・※土倉享一・豊田宏・萩原健・森悦郎・妻鹿健次郎・山本英親・吉村豪介・窪田恵一・河村文雄・※矢田廣(二十一名)

(昭和四十四年卒) 青木誠司・青笹吉郎・浦川道太・北田韶彦・清水廣一・竹入啓子・西川芳子・村松久子・谷田部茂・米井善男・桃井清治(二十一名)

(注) ※世田谷稲門会幹事

「おい、ワセダ地球市民」 早稲田大学は今年創立百二十一年。卒業生の輪は、日本国内はもとろん世界各地に広がっています。校友会の会員も四十八万人を超え、海外稲門会だけでも四十六団体、国内をあわせると百十八団体ものぼり各地で活発に交流を行っています。

また大学では二〇〇四年よりグローバルに活躍する地球市民の育成を目的として国際教養学部を設立することになりました。

ますます地球サイズになる早稲田大学。そこで今回の稲門祭のテーマを「インターナショナル」とし「おい、ワセダ地球市民」をキャッチフレーズにさまざまな企画が展開された。

「東京二十三区支部稲門祭校友のつどい」

昨夜来の雨も上がり、雲一つない紺碧の空の下、東京二十三区支部発足後最初の稲門祭校友の集いが大隈庭園で行われた。昨年までは東京二十三区稲門会連合が稲門祭を盛り上げるべく独自の企画で参加して来たが本年三月より東京二十三区稲門会連合は「校友会・東京二十三区支部」となり、大隈庭園での催しの実施主体として稲門女性ネットワークと連携して趣向を凝らして稲門祭を盛り上げていく事となった。

世田谷稲門会としてもこの

行事に積極的に参加するといふ事で模擬店の開設、会員募集等に幹事諸氏が奮闘した。本年は上述のように幹事の中六名が招待者のため非招待者幹事が総出で対応した。

早朝より次々と幹事が大隈庭園に集合準備を開始した。(世田谷稲門会の役割分担)は次の通りであった。(敬称略)

模擬店関係 (責任者) 大須賀肇 (販売) 柏良子・庄司真恵・岡本早苗・寺澤夫人 庭園本部関係 (本部長) 会員募集責任者(前原祖彦(環境責任者) 山口進吾 (誘導案内責任者) 下谷内堯(関連業務) 武藤哲・岩上健

終了後(一)会員募集(二)会員誘導・環境(三)イベントの三班に分かれ準備を開始した。十二時にはテント・イベント開始。来場者に対応した。十五時二十分、校旗を中心に来場者と共に全員参加で校歌を高らかに斉唱、庭園行事を盛況裡に終了した。その後大隈講堂前の稲門会集合に移動した。ここでは世界で活躍する卒業生のメッセージや留学生を交えたイベントなどたくさん

の行事がとり行われた。「各稲門会のテント模擬店」は江戸前寿司 (杉並稲門会) 全国銘酒試飲 (目黒稲門会) ワイン (渋谷稲門会) 餅製品 (練馬稲門会) おでん (江東稲門会)



一・高橋和敏 十時より大竹一子目黒稲門会幹事の司会で全体会が行われた。二十三区支部長(真仁田勉)目黒稲門会会長(鈴木宏治)世田谷稲門会副会長の挨拶・細谷修身文京稲門会事務局長の庭園内総体説明・木藤広樹「環境ロドリゲスの環境対策担当」の説明等があった。



模擬店で活躍された女性会員

右より柏良子さん岡本早苗さん莊司真恵さん

世田谷稲門会では前述の様に昨年につづき『たべものや、うららか』寺澤直洋氏経営)の協力により出店した。

「世田谷稲門会模擬店出店」

でそれぞれ会場の雰囲気を感じ上げた。

- 焼き鳥・にら饅頭・自家製クッキー (世田谷稲門会)
- 似顔絵書き (豊島稲門会)
- スカーフ販売 (中央稲門会)
- ワイン・喫茶 (稲門女性ネットワーク)
- 餅つき (練馬稲門会)
- 目黒囃子 (目黒稲門会)
- のこぎり演奏 (足立稲門会)
- 江戸芸カッポレ (文京稲門会)
- 湯島天神白梅太鼓 (文京稲門会 湯島天神社)

美味しい廉価な「やきとり」「にら饅頭」「自家製クッキー」等を販売し来園校友に提供した。

やきとりの香ばしい臭いと煙にさそわれ、また愛嬌のある呼び込みで販売に当たった、柏良子さん、庄司真恵さん、岡本早苗さんの女性トリオに魅せられ、来客の行列が出来売行きは上々、午後一時半には全商品完売となり、来店者には上々の評判であった。

感謝！
また大隈庭園に来園された世田谷稲門会会員の角田真一郎氏より金一封の寄付、辻村ひろみさん、細沢勲氏より生ビールや餅等の寄贈がありました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

(大須賀肇/記)

『各部会報告』

「ゴルフ部会」

- 第三十四回日高CC 四月八日
- 第三十五回大月CC 六月三日
- 第三十六回中津川CC 九月二十六日
- 第三十七回飯能CC 十一月二十八日

と平成十五年のコンペも無事予定通り終了した。その他十一月十二日の大学校友会主催の「総長杯ゴルフ大会」にも有志十名が参加した。(おおむらさきCC)

●会員数 百名と世田谷稲門会最大の部会で、十年以上の歴史がある。毎回四十名前後が参加し、楽しい会となつて

●世話人氏名

- 代表 平井恒夫 (二十九政経)
- 会計 寺澤隆夫 (二十九商)
- 競技 森 昌治 (三十八商)
- 記録 井澤貞夫 (三十五理工)
- 監査 守屋寧夫 (三十五商)

●今後の予定
四月以降新年度予定は現在未定であるが、来年も年四回開催する積もりである。

入会希望者は右の世話人にお申し出下さい。

但しコース確保の都合上平日開催となること予めご承知下さい。年会費二千元 (寺澤隆夫/記)

「ボウリング部会」

毎月一回、世田谷オークラボウルで、渋谷稲門会と合同で例会を開催。第三または第四日曜日の午前十一時から三ゲームの投球、約一時間半の所要時間です。

六月は参加十一名。莊司真恵さん(四十三教)が、足の怪我癒えてひさしぶりの参加。持前の華麗なフォームで元気な投球を見せて一二二点を挙げたのは流石！

一ゲーム得点ベスト三。

- 一七七点 飯田幸裕さん(平九経)
 - 一六〇点 武藤 哲さん(二十八法)
 - 一三五点 新井 武さん(三十三商)
- 七月は六名の参加。少人数のため談笑しながらの、好プレイに拍手、珍プレーに笑いを誘いながらの楽しい投球。莊司さんが素晴らしい制球力で一四一点のトップ。和田全

正さん(三十七理)も一三七点の健闘。

八月は参加十四名。峰本俊一さん(二十八商)、暁子さん(二十七経)、戸井田幸雄さん(四十二教)、桃子さん両夫妻がお揃いで参加。アットホームな明るい雰囲気でのひととき。得点上位三名次の通り。

- 一四〇点 加藤隆夫さん(三十四法)
 - 一二五点 佐山順孝さん(三十四法)
 - 一二三點 江口力さん(二十四経)
- 九月は八名の参加。飯田さんが、力強いスピードある投球でストライク、スペアを連発して一八二点の高得点、新記録に今一步。清水廣一さん(四十四文)も健闘して一三二点。

十月は参加七名。当月は何故か全員得点が伸びず、山口進吾さん(三十三法)が味のある安定した投球で、三ゲームの平均得点一二七点を挙げてトップ、お見事！

ボウリングは、老若男女どなたでも気軽にできるスポーツ、健康増進、ストレス解消には最適、さあ一緒に投球して見ませんか。ご参加お待ちしております。

(武藤哲/記)

「スポーツ観戦部会」

当部会では、秋の早慶野球観戦会を十一月一日(土)に神宮球場にて開催した。(参加者・会員三十名、同伴者十一名)当日は紺碧の空ならぬ曇天ではあったが雨の心配はなく、当日一回戦に勝てば母校の四連覇が達成されるとあって、球場は内外野ともほぼ満員となった。例により特別応援席に陣取り応援部員・チアリーダーのリードで学生と一緒の



応援を行った。試合は母校の投打の活躍で七対一の圧勝であった。このところ慣れっこになった優勝の味であるが四連覇優勝の「都の西北」は格別であった。当日は母校の白井総長も観戦にみえ、試合終了後応援席にて四連覇を祝う挨拶があった。終了後祝勝会を青山増田屋そば店で開催した。当日は増田屋の二階が各稲門会の貸切りとなり、(当会は二十三名出席)各稲門会入り乱れて祝杯を上げ、応援歌、校歌を熱唱し午後六時すぎ散会した。

今回の観戦会は五連覇を目指す春の早慶野球一回戦を予定しております。

参加会員(敬称略)

池田良夫、市川隆彦、岩上健一、江原利次、大西幸男、柏良子、川村保夫、熊本昭二、杵掛元砥、越山八郎、小林浩、斉田秀雄、斉藤郁夫、志賀利吉、下谷内亮、荘司真恵、鈴木宏治、高橋和敏、高葉宏、土倉享一、寺澤隆夫、藤川元、水島豊、武藤哲、保倉進、安井寿々代、矢田廣、山口進吾、渡辺八郎、和田全正

(山口進吾/記)

「釣り部会」

今年、思わぬ冷夏となり、鮎釣りには全く良くなかった。当部会の行事予定の狩野川は、特に悪く、型も小さく、シーズン終了迄数も出なかった釣況の為、例会は無しとなった。グループ会が発足した為、新入会者が増え盛んとなってきた。

七月二十日、東京湾小柴沖かさご釣りに三名参加。米国帰りの大森さんトップの二十七匹。

八月三十一日、茅ヶ崎沖にて、常宿の沖右工門丸より出漁。不漁なるもさば、そうだ鯉で土産は充足。四名。

九月十三日、地藏堂川での溪流釣りは、中型いわな三匹の貧果。但し

リリース級の小さいわなが多く、来年は楽しみである。小あまごも多い。全般に鮎も含め育ちが悪い。

十一月二



日、四十〜四十五糎に育ったいなだ釣りに、茅ヶ崎沖へ出漁、参加者常連の大森、成田さんと小生。九月例会には竿を持参せず、貧果に終わったので、初めて竿釣りとなる。初心の成田さんいなだ四匹、真鯛三十糎を釣り上げご満足。いなだの刺身作りに魚屋へ行った先月、今回はどうしたのでしょうか。大森さんも四匹立て続けに釣り、計五匹。

(柴田 昇/記)

「食べ歩き部会」

九月二十七日(土)十一時三十分より平成十五年第一回例会を開催。参加者三十一名。今回は「都市再生」の目玉として着々と再開発の進む汐留シオサイト内シテイセンタ―二階の料亭「えど」で日本料理(会席)を賞味した。

世話人よりの会務報告の後、奥田隆氏(昭二十八文)の発声により乾杯。吟醸生酒の銘酒「汽笛一声」を満喫。会席料理の一品一品に舌づつみをうち、鯛素麺の美味に一同感嘆の声をあげた。味よく酒よく歓談の一時を過ごし、お互いに酒杯を交わし

ての和やかな談笑のうちに楽しい時刻は過ぎ、定刻に至り十四時閉会した。

解散後は各自三々五々、超高層ビルが立ち並ぶ二十一世紀の東京新名所汐留シオサイトの中で明治時代の文明開化のたたずまいを見せる一角に明治五年新橋―横浜間で日本で初めて鉄道が開業した時の駅舎を再現した「旧新橋停車場」・大隈重信が鉄道布設を推

進めた。旧新橋停車場



一 高葉宏 武居達治 寺澤隆夫 細沢勲 前原祖彦 真木郁夫 松居泰三 水島豊夫 妻 武藤哲 保倉進 山口進 吾 渡部寿之

(大須賀肇/記)

「麻雀部会」

平成十五年九月で創部満四年を迎えた。前回報告後の活動状況は次の通り。参加者名

(敬称略)

一、七月十二日(土) 第三十五回親睦麻雀大会

炎天下にもかかわらず、先月と同じ二十二名の善男善女が集い腕を競った。

前半二回戦の合計では優勝は原諒子氏と寺澤氏の何れかで決まりと一同思ったが、両氏共に後半二回戦を遠慮している隙を新進の大矢氏がつき、僅差で優勝を攫った。原、寺澤両氏は失点を最小限に抑え、原諒子氏は準優勝、寺澤氏は四位、三位には久しぶりに参加した島田氏が滑り込んだ。

(参加者) (敬称略)

麻生卓司夫妻、上田忠雄夫妻 上保幸夫 江原利次 大須賀肇 奥田隆 柏良子 加藤隆夫 木村滋 熊本昭二夫妻 郡山弘文 犀川千代子 莊司真恵 鈴木宏治 関根昌

二位 寺澤隆夫 五位 国沢俊一 六位 遠藤純子 武田一成、鈴木淑子、出口泰男、市川隆彦、上保幸夫、大石邦雄、大森雄二、古谷珠樹、岩富孝、有利純太郎、奥田隆、江口力、下谷内亮、磯田稔、原明、阿部信之
二、七月十三日(日) 第四回麻雀を楽しむ会
技量とスピードアップを目的にマンツーマン方式で実戦教育を行った。

(参加者) 熊本ちずる、犀川千代子、莊司真恵、鈴木淑子、渡辺秀子 講師 天野孝一郎、蔭山康夫、下谷内亮
三、八月九日 第六回三区(世田谷・渋谷・目黒)親善麻雀大会

当部主催により、渋谷の「スリーハンドレッド」において三区親善麻雀大会を開催した。当日は好天に恵まれ、これ迄で最多の三十六名の参加者による白熱した試合となった。

当部から、十一名が参加親睦と区の名譽を賭けて戦った。戦績は左記の通りであり目黒、渋谷両区の猛者を相手に頑張ったが、やや不本意な結果と

なり、次回での健闘を誓い合った。
優勝 横山大(目黒) 準優 勝寺田近雄(渋谷) 三位 安藤映子(渋谷)
当部出席者の戦績 市川隆彦(五位)、吉村善智(八位)、上保幸夫(十一位)、江口力(十三位)、武田一成(十七位)、木村滋(二十位)、鈴木淑子(二十二位)、下谷内亮(二十五位)、河内文雄(三十位)、原明(三十一位)、奥田隆(三十三位)
四、九月二十日(土) 第三十六回親睦麻雀大会
絶好の行楽日和である日本晴にもかかわらず、本年最多二十八名の紳士淑女が集い暫し牌と戯れた。前半を終わった時点では原明、加藤両氏が頭二つ抜け出し、優勝争いはこの二人に絞られたかに見えたが、世の中そうそう甘くなく、原氏の最終回の半チャン、プラス五十三点の猛烈な追込みもかなわず二位に後退、最終回プラス六十三点を叩き出した老練蒲原氏が僅差でトップをもぎ取った。加藤氏は後半モタつき大波賞にとどまった。

(参加者) 優勝 蒲原信一 準優勝 原明 三位 有利純太郎 四位 国沢俊一 五位 大森雄二 六位 上保幸夫
大矢和親、江口力、磯田稔、木村滋、加藤礼子、阿部信之、吉村善智、出口泰男、下谷内亮、遠藤純子、吉村登喜子、鈴木淑子、永井憲一、大石邦雄、郡山弘文、原諒子、長谷川義樹、寺澤隆夫、秋元孝禧、草野昭次、高橋毅、渡辺秀子
五、九月二十一日(日) 第五回麻雀を楽しむ講習会
早いツモと即断即決を課題に実戦による講習会を開催した。段々スピードが上がっており、この先が楽しみである。

(参加者) 岡田範子、犀川千代子、莊司真恵、鈴木淑子、渡辺秀子 講師 蔭山康夫、下谷内亮
六、十月十八日(土) 第三十七回親睦麻雀大会
参加者十五名で、内容はこれまでと優るとも劣らぬ手に汗を握る熱戦となり、前半皆ダング状態の星の潰し合いとなり、皆に優勝の可能性のある面白い展開となったが、後半老練江口力氏が地力を発揮しスルスルと抜け出し、二位以下に四十点以上の差を付ける

下谷内亮
三、八月九日 第六回三区(世田谷・渋谷・目黒)親善麻雀大会
当部主催により、渋谷の「スリーハンドレッド」において三区親善麻雀大会を開催した。当日は好天に恵まれ、これ迄で最多の三十六名の参加者による白熱した試合となった。

独走状態で優勝を飾った。二位には久しぶりに参加した宮木氏、三位には前回の雪辱を狙った加藤氏が入賞した。

(参加者) 優勝 江口力 準優勝 宮木甫 三位 加藤礼子 四位 長谷川義樹 五位 大石邦雄 六位 有利純太郎

下谷内亮、岡部清策、高橋毅、阿部信之、鈴木淑子、大森雄二、大矢和親、国沢俊一、木村滋

七、十月十九日(日) 第六回麻雀を楽しむ講習会

手作り、役づくりを主体に蔭山講師がお土産持参で孤軍奮闘し、参加者を指導した。

(参加者) 岡田範子、金子三鎖子、鈴木淑子、渡辺秀子

講師 蔭山康夫

八、十月二十五日(日) 第七回三区(世田谷・渋谷・目黒)連合親睦麻雀大会

今度で七回目となる三区親善麻雀大会を渋谷駅近辺の麻雀荘「スリーハンドレッド」で、目黒区麻雀部主催で開催した。

当日は好天に恵まれ前回に次ぐ三十二名の精鋭を集めて行われた。当部は十一名参加したが、前回と打って変わり健闘し、トップこそ逃したものの、二位・三位・四位・七位と上位独占し、前回のウツブンを晴らした。

参加者と戦績は下記の通りである。

優勝 丸山秀一(渋谷) 準優勝 上保幸夫(世田谷) 三位 江口力(世田谷) 四位 下谷内亮(世田谷) 七位 草野昭次(世田谷)

当部出席者の戦位 国沢俊一十九位、磯田稔二十位、河内文雄二十二位、大森雄二十三位、奥田隆二十九位、木村滋三十位、阿部信之三十一位

九、十一月十五日(土) 第三十八回親睦麻雀大会

晩秋とはいえ、暖かい晴れた日、二十七名の同好の善人が集まり、運と口と腕を競い合った。

試合は前半、大森、市川、岡部、原諒子の四氏が飛び出し、この四名で上位独占かと思われたが、多士済々の当部のこ

と、そうは問屋が卸さず、勝負は最終回にモツレ込み、最終回六十点を叩き出した岡部氏がダントツの初優勝、後半老練蒲原氏が準優勝、前半の貯金を死守した大森氏が三位

に踏みとどまった。上位陣が大量得点を叩き出したあおりを食らい、四位以下は小差の混戦模様となった。

(参加者) 優勝 岡部清策 準優勝 蒲原信一 三位 大森雄二 四位 宮木甫 五位 有利純太郎 六位 市川隆彦

阪本雅則(友情出演)、吉村義智、原諒子、原明、武田一成、国沢俊一、寺澤隆夫、郡山弘文、渡辺秀子、草野昭次、出口泰男、秋元孝禧、加藤礼子、吉村登喜子、岩富孝、永井憲一、鈴木淑子、阿部信之、大石邦雄、下谷内亮、上保幸夫、河内文雄

十、十一月十六日(日) 第七回麻雀を楽しむ講習会

早いツモ、速い牌捨てを主眼に講習会を開催した。この調子で行くと、来年には、講習会参加者による麻雀大会が開催出来そうで、前途に楽しみが湧いてきた。

(参加者) 熊本ちづる、莊司真恵、沼田宜子、渡辺秀子

講師 蔭山康夫、下谷内亮

(下谷内亮/記)

一、第六回囲碁将棋の会

まだ暑い夏の覚めやらぬ九月七日(日)第六回囲碁将棋の会を湯河原杉の宿で行う。総勢十一名。今年は天候不順のため、夏が遅れて今が盛り。蟬時雨を浴びながら、一時を少し回って杉の宿に到着。既に先発組が碁盤を囲んでいる。早速碁基点数を配り、四回総当たりの碁戦を開始。今日は日曜日なので、比較的空いている。二局終了後、五階の露天風呂にゆく。ここも人が少ない。風呂から見える山の稜線はくつきりとしており天気は上々である。緑の木立を挟んで、宿のそばを流れる小川のせせらぎも心地よい。又碁局に戻る。武藤さん、蒲原さんが順当に勝ち進んでいる。四局打ち終り場所を移して夕刻の宴につく。豪華な舟盛りを二本。酒に魚を突きながら、碁の戦局に論戦を張る。一頻りして、又場所を変えて、今度はカラオケ。様々な唄を皆楽しげにうたう。とりは例により斉藤さんの「こきりこ」。十一時を少し回った所で又碁

「囲碁将棋部会」

戦に戻る。布団に入ったのは一時を過ぎた所だった。翌朝は七時頃から又打ち始める。囲碁三昧に打ち興じ、正午過ぎに杉の宿を後にした。

二、第三回オール早稲田囲碁祭り(首都圏)に参加

九月二十八日(日)各地域二十以上の稲門会囲碁部が集まって一同に会する囲碁大会、市ヶ谷の日本棋院で開催された。この会は早稲田大学囲碁部OB会(含む現役)も参加し三

県代表クラス、早稲田の教職員囲碁会も参加している。わが囲碁将棋部会も一組でメンバーを組んで参加した。

会場はむんむんする熱気の中、大会並びに指導碁も行われ、世田谷稲門会は二度目の参加であり健闘をみせた。

三、第三回稲穂会囲碁大会及び懇親会に参加

十一月十六日(日)杉並稲門会囲碁部が中心になり杉並、世田谷、中野、渋谷、目黒、新宿の外に三多摩の各市、千葉、神奈川の各市区町村の早稲田の卒業生、各囲碁部が参加している、標記大会が行われた。

今回は渋谷稲門会が幹事で会場は早稲田大学の新学生会館

四階で行われた。わが囲碁将棋部からは六名が参加。今回は個人戦で武藤六段がA組で優勝した。重ねての快挙、素晴らしいの一言につきる。碁戦も終わり場を三階に移して懇親会。自己紹介の後、各稲門会からの参加者の親睦の輪が広がった。

(当部会参加者) (敬称略)

武藤哲、蒲原信一、大月忠孝、渡辺八郎、矢田廣、清水明雄。

(矢田廣/記)

「ウォーキング部会」

平成十五年新たに発足した部会であるが、毎月第一日曜日(原則)に開催している。

十一月迄に十一回開催し、

主として世田谷区内の野川・仙川・蛇崩川等の緑道約五軒米を三時間前後でゆつくり歩いている。歩くことは健康に良いと言われているが、一人では仲仲五軒米を歩くのは難しいが、仲間とおしゃべりしながら歩くと、あつという間に目的地に到着する。ウォークの前後には必ず軽

い体操をして、途中休憩一回を入れているので、糖尿の危険のある方、肥満気味の方等にもってこいの健康的な部会である。そして長年世田谷に住んでいる方も、今まで気付かなかつた世田谷の緑の多さや、歴史について再認識する毎回である。

●会員数 二十八人

●世話人

代表 寺澤隆夫(二十九商)

企画 新井 武(三十三商)

企画 河内文雄(三十四法)

会計 國澤俊一(四十三理)

監査 岩砂 脩(二十九政経)

●参加の方法

希望者は新井武(三四二五一

四一一八)か河内文雄(五四

五〇一六〇九七)へ

十三回 一月十三日明治神宮

初詣 十三時三十分JR原宿

神宮口集合

十四回 二月三日六本木ヒル

ズ庭園美術館・白金・広尾。

十三時三十分JR目黒駅集合

十五回 三月三日山本有三を

偲んで井頭公園・山本邸。十

三時三十分 井の頭線吉祥寺

駅出口集合

十六回 四月七日谷川緑道を

行く。十三時三十分桜新町駅

集合桜の見頃か?

(寺澤隆夫/記)

「社交ダンス部会」

当部は現在八名、各々分散して練習中です。ダンスは奥が深く納得した踊りができるまでには数年かかります。教師から数えられたことを理解し吸収し、それを体で表現しても、外から見る人にとって好印象を与えるところまで達するのは容易なことではありません。

その上、流行もあつて最近ハルバなどラテン系も人気の様です。会員諸兄で希望があれば良心的サークルを幹旋できますのでお申下さい。

(武田信夫/記)

「カラオケ部会」

当部会も会員が四十名と成長、第十回の部会は、去る九月二十七日、二十八日の両日、特別企画として、温泉・グルメ・観光付きの「カラオケ旅行」を行いました。

目的地は甲斐路の温泉と果物の里、石和温泉郷、宿は世田谷区指定の保養施設「ホテル古柏園」。

参加者はゲストを含めて十六名で、当ホテル自慢のマイナスイオン泉と名物料理「甲州会席」を堪能した後は、サロンを借り切り、カラオケタイム、一人平均三曲の持ち歌を熱唱、最後は全員で、当地歴史に因み、「武田節」を合唱しました。

翌日は周辺のワイナリー・葡萄園・ハーブ園・武田信玄の菩提寺「恵林寺」等、名刹、

古寺の観光スポットを楽しむと共に、昼食は地元名物「ほうとう」を賞味しました。

ところでこの旅の話は、長老会員内藤氏(九十九才)の活躍振りでした。ホテル到着後、まず知人(ゲスト)と共に大浴場に挑戦、当人の年令を知った他の入浴客の間で、「白寿の人が温泉に入っている!」と評判になり、夜の宴会では余興として行われた「当地クイズ」で全問正解で優勝、福引でも強運で賞品のブドウを引き当てました。

又、本番のカラオケでは奥様とダンスとデュエットを披露、翌日の観光でも、ほぼ全行程に参加する等、その元氣さに我々若手?会員一同は、脱帽しました。

扱て、当部会の今後の予定は、次の通りです。

- 一月 新年会
- 三月 例会
- 六月 例会
- 九月 カラオケ旅行(一泊)
- 十一月 総会

(蒲原信一/記)



写真部会

写真部会設立のご要望があり、平成十四年より募集致しました結果、十八名の参加申込みがありました。実際にスタートする前の準備として平成十五年一月二十八日に基本的な写真部会の進め方を提示し、各自の写真に対する取り組み方、考え方等のアンケートをさせて頂きました。その結果は勿論様々でした。アンケートの結果報告と今後の進め方を決める為に四月五日に写真部会の発足を実施致しました。奇数月に例会を開催する事に決定。基本は作品を各自持ち寄り（四つ切またはA4サイズ）展示して、それを鑑賞し、忌憚ない意見の交換、情報の交換等を中心に懇談と会食をする事にしました。（撮影レベルを向上し、作品として撮影したいという気持ちは皆さん大いにありました。）

今までに四月五日例会、五月十七日例会、六月二十二日撮影会（新宿御苑）、七月二十六日例会、九月十三日例会、十一月十六日撮影会（神代植

物公園）と六回の会合を実施致しました。折角集まったので皆さんの作品のレベル向上をお手伝い出来れば幸いと撮影会を適宜開催しますが、例会でも色々な話が聞け役立つ事は大いにあります。会員の中心にレベルの高い方も多く初心者に親切に解説してもらいます。例会では話題が豊富で楽しい時間を大いに過ごしています。（最近では写真の方もデジタル化がどんどん進んでいますが、この面でも最先端の話が聞けます。撮影方法、画像処理、プリント）

（世話人） 川村保夫、鈴木宏治、豊田宏（敬称略）
（種谷鴻成／記）

ブロック会報告

「玉川会」（東京電力発電所見学会バスツアー）

玉川会は、六月二十二日発足しましたが、これまで次の様な活動をして来ました。七月十五日発足会懇親会・東方見聞録
八月二日ジャズを聞く・ラ

リユ
八月五日ゴルフコンペ・大平洋御殿場ゴルフクラブ
八月二十二日スローフードとスローミュージック・カヴォーデユドン
十一月二日 グルメ会・陸春坊日飯荘
その他 釣り・麻雀会は随時行っている。

十一月六日東京電力品川火力発電所、東芝磯子エンジニアリングセンター、石川島播磨重工業の原子力発電装置の製造、プラントの見学バスツアーを実施しました。

当日の朝は小雨でしたが、東京電力が用意してくれた大型バスで首都高速目黒からま

ず磯子へ向いました。車中東京電力の担当者から、同社の原子力不祥事の再発防止への取組みから、家庭の電気器具の消費量の話まで、また火力発電と原子力発電の仕組みなどの説明がありました。途中会員から鋭い質問も出て担当者も即答出来ないこともしばしばあり移動時間は渋滞もありましたがあつと云う間でした。

まず初めは東芝磯子エンジ

ニアリングセンターで、原子カプラントの展示コーナー、モデル室で、原子力発電所の仕組みやプラントの模型を見学説明を受けました。昼食後隣りのIHI横浜工場で作現場を見学、工場内で台湾への原子力炉圧力容器の現物があつたのが印象的でした。

最後は都内で唯一と云える東電の品川火力発電所です。ここは平成十五年八月に完成した最新鋭設備を誇り、都心

の電力を支えている所です。この建物、煙突は近くの天王州アイルやレインボーブリッジを中心とした周辺の景観にマッチするよう配慮されており、環境に調和している発電所です。

この企画は今年の夏の電気量の危機が言われた中でしたので、エネルギー使用や発電方法について考える事、またあまり体験出来ない見学会でしたので大変有意義でした。（参加者） 井澤卓夫、磯田稔、岡部清策、小山田安宏、かよみ夫妻、岸田正和、郡山弘文、小林浩、柴田昇、浜田康夫、山本厚子、本部から土倉享一、会長、矢田廣（敬称略）

玉川会は現在会員数四十六名ですが、これからも地域別



（浜田康夫／記）

情報ガイド

「特色ある大学教育支援プログラム(COLE)」に採択

学部教養教育の改革!

「新たな知の枠組み」の創造

文部科学省は九月、初めての試み「特色ある大学教育支援プログラム」の審査結果を発表した。このプログラムは、優れた教育を実践している大学・短大を選び、広くその取り組みを周知し、支援するもの。

その中で、本学オープン教育センターの取り組みをまとめた「実践的知の確立を目指す現代型教養教育―総合大学からの試み―」が、「教養教育の改革に大胆に取り組んでいる事例」と評価され、採択された。

二十一世紀COEプログラム
本学からは今年度四件採択

昨年度から始まった文部科学省の「二十一世紀COEプ

ログラム」。日本の大学に世界をリードする研究教育拠点をつくり、優れたプログラムに重点的に予算が配分される。その二〇〇三年度の審査結果が七月十七日に出そろった。申請のあった二百二十五大学(六百十一件)のうち、五十六大学(百三十三件)が選ばれた。

今回の対象分野は、「医学系」、「数学・物理学・地球科学」、「機械・土木・建築・その他工学」、「社会科学」、「学際・複合・新領域」の五分野が対象。本学からは四件が採択された(下表参照)

COEは、Center of Excellence(卓越した研究拠点)の略で、学問を十分野に分けて、それぞれ世界最高水準の研究教育拠点をづくり、わが国の学術水準の向上を図る目的で始まった。昨年度、本学からは五件のプログラムが採択されている。

(早稲田ウイクリー)



WASEDA BEAR

●平成15年度21世紀COEプログラム採択拠点

拠点のプログラム名称	多元要素からなる自己組織系の物理	超高齢社会における人とロボット技術の共生	開かれた政治経済制度の構築	企業社会の変容と法システムの創造
中核となる専攻等名	理工学研究科物理学及応用物理学専攻	理工学研究科機械工学専攻	経済学研究科応用経済学専攻	法学研究科民事法学専攻
事業推進担当者(リーター)	石渡 信一 教授 他22人	藤江 正克 教授 他23人	薮下 史郎 教授 他20人	上村 達男 教授 他23人

(世田谷稲門会会報 既刊一覧)

会報No.	名称	概要	発行年月日
1	1	発会懇親会 (平4.7.18)	平成6年5月21日
2	1	第1回総会 (平4.11.3)	"
3	(合併号) 1	第2回総会 (平5.11.20) 第3回総会 (平6.5.21)	"
4	臨時号		平成9年11月29日
5	年末号		平成9年12月25日
6	11月臨時号		平成10年11月7日
7	12月臨時号		平成10年12月14日
8	8		平成11年4月15日
9	9		平成11年7月20日
10	10		平成11年10月10日
11	11		平成11年12月22日
12	12		平成12年4月21日
13	13		平成12年6月21日
14	14		平成12年9月22日
15	15		平成13年1月10日
16	16		平成13年4月20日
17	17		平成13年7月20日
18	18		平成14年1月11日
19	19		平成14年4月21日
20	20		平成14年7月5日
21	21		平成15年1月15日
22	22		平成15年4月25日
23	23		平成15年7月23日

「創立百二十五周年記念事業募金募集状況」

(寄付実績) (世田谷稲門会) 個人法人
(平成13年10月より法人寄付依頼開始)
(法人) 支部等扱い法人のみ

平成15年11月18日 実績

(個人)	74,604,785円
(団体)	725,125円
(世田谷稲門会寄付金600,000円含む)	
(法人)	7,900,000円
(高額寄付)	40,736,526円
(計)	123,966,436円 ①

(目標) (協力依頼額) 219,450,000円 ②

(内訳)	
(個人)	195,210,000円
(法人)	24,240,000円

(達成率) ①/② 56.5%

（会員のひろば）

◆二〇〇三夏・納涼会客員出席者スヴェトラナ・ヴァシリユクさんについて

（事務局宛 木村滋氏書簡）

冠省 二〇〇三年夏、納涼会を楽しく過させて頂き、有難く御礼申し上げます。

さて、当日小生が同伴出席し、名簿に「夫妻」として記載された外国人女性について一言釈明させて頂きますと、スヴェトラナ・ヴァシリユク ロシア・アメリカ二重国籍、日本文科省奨学金を得て、現在法政大学・大学院下斗米教室で日口関係史専攻中の三十歳。向う三年間の滞在中、(株)全国樺太連名理事として、小生が、日本の習慣・文化等々について、相談を受ける立場にあります。

夏休中でもあり、日本を代表する私学、早稲田の雰囲気を感じさせてやろうと今回同道出席した次第です。

納涼会案内に「友人もお誘いの上」の趣旨の文言があった

ので会費振込に「樺太連盟会員」の肩書をつけることにより「友人」乃至「客員出席」の意味をもたせた心算でしたが不十分でした。

納涼会出席の方の中には、全く不釣合いな「夫妻」に奇異な感じを持たれた方々が少なからずおられると思いますので次回「稲門会会報」の行事報告記事に一言「客員」としてこの異色出席者について触れて頂ければ幸甚に存じます。

なお、スヴェトラナ本人は、三十一階の眺望、音楽、豪華な食事と飲物、特に好きな赤ワインに堪能し、稲門の皆さんの暖かいパーソナリティーに感激しております。

又、一昨年ロシヤ・サハリン旅行に夫妻で参加された渡辺八郎氏がこれを機会にスヴェトラナさんよりロシヤ語を習うこととなりました事を追記させて頂きます。

ご多用中恐縮ですが、以上、よろしくお願い申し上げます。 匆々

平成十五年八月二十五日 木村滋

「東京湾大華火祭（第十六回）鑑賞会」（有志の会）

八月十日（日）応化新一

会・三日会・草炭会・世田谷稲門会有志の合同稲門の集い（東京湾大華火祭鑑賞納涼船上会）を開催。ここ数年來の恒例合同会合であったが、各会員家族を含め二十九名が集い、盛大な宴となった。

颯風十号一過の猛暑の中、抜けるような青空の下、納涼屋形船は柳橋を出発。変貌するウオーターフロントの遠景を眺めつつ隅田川を南下、晴海埠頭沖へ。百月鬼清「応化新一会」幹事の開会挨拶のあとは、船頭がつくる江戸前の天ぷらなど自慢の手料理を味わいながら美酒に酔い宴は盛り上った。

午後七時より晴海・竹芝・日の出ふ頭前海上に、連続して打ち上げる「スターマイン」。その最大の目玉は直径四百米にも広がる尺五寸玉で、その庄巻は東京湾ならではの夏の風物詩で全員が大歓声をあげた。

レインボーブリッジや首都東京のベイエリアの夜景と豪華絢爛な花火の共演をしばし

楽しみ、各稲門会会員間の懇親を深め午後九時柳橋に帰着解散した。

（世田谷稲門会よりの出席者） 熊本昭司、大須賀肇（敬称略）

（大須賀肇ノ記）

「世田谷稲門会（食べ歩き部会）」「二水会」合同稲門の集い。（有志の会）

十月二十五日（土）標記稲門合同会を開催。参加者二十四名。色づき始めた紅葉の木々に取り囲まれた東京競馬場（府中）の豪華なメモリアルスタンド（貴賓観覧室）で昼食会を兼ねた競馬観戦会を行った。両方の会の幹事である柏良子幹事のユーモラスな司会で進行。大須賀肇幹事の開会挨拶後乾杯発声により全員元気よく乾杯。この集いは今回が初めてのため全員の紹介。渡辺八郎氏より競馬に関する説明等がなされ、その後全員の記念撮影。競馬観戦等では歓声が上り会は盛り上った。

薄曇りの天気ではあったが、多摩丘陵の山並みを望みつつ浩然の気を養い、相互の親睦を深め一日を楽しく過し、十六時すぎ解散。

「出席者」稲垣恵三 柏良子 斎藤郁夫 永井純一郎 福田善雄 古田正之 松居泰三夫妻 水島譲二 大須賀肇 岡本早苗 菅田美代子 岸田正和 熊本昭二夫妻 鈴木淑子 鈴木宏治 荘司真恵 高葉宏 細澤勲 武藤哲 山口進吾 渡辺八郎夫妻（敬称略）

（注）二水会（昭三十一年第一政経卒K組同期会）

（大須賀肇ノ記）



訃報

当会前会長 黒沢嘉幸氏には
病氣療養中のところ薬石効なく
平成十五年十一月二十三日二時
十二分。八十六歳にて逝去され
ました。氏は平成四年十二月より
八年十月までの四年間にわたり
当会会長として当会の運営に
尽力され、今日の隆盛の基礎に
くりに精根を傾けられました。
謝意を表しますと功績を偲び深く
悼の意を表します。謹んで哀

氏略歴は次の通りです。
大正六年九月一日生れ
早稲田大学卒業(練上卒業)

昭和七年八月軍少尉任官を経て
昭和三十二年八月情報部所属
昭和三十一年八月終戦によりソ連に

重労働三連の戦いに付され
昭和三十一年八月終戦によりソ連に
昭和三十一年八月終戦によりソ連に

昭和三十二年八月情報部所属
昭和三十二年八月情報部所属
昭和三十二年八月情報部所属

ア「(著書)抑留十一一年最後の帰還兵」

世田谷稲門会の現状と新規会員の募集について

世田谷稲門会は平成4年にスタートしました。年々会員数も増加し、都内23区の稲門会でも1~2を争う会に成長しています。

Table with membership statistics: 平成15年6月20日現在 (会報23号) 365名, 以後 (新入会者) +11名, (退会・休会者・逝去者) -12名, 平成15年11月20日現在 364名

当稲門会としては、何とか400名以上の会員数にしたいと考えております。是非ご近所の方、同級生の方、会社の同僚等同窓の方をご紹介下さい。

事務局までご連絡頂ければ早速申し込み用紙をお送り致します。(〒157-0073 世田谷区砧8-19-15 寺澤隆夫 Tel & Fax 3415-1887)

全体の行事としては、1月の新年会・5月の総会・8月の納涼会と年3回の行事のほか秋には「早稲田大学校友会東京23区支部のつどい(大隈庭園)」が行われます。また下部組織として下欄のような部会があり、活発な活動をしています。(入会申し込みは代表世話人まで)

代表世話人・会員数・部会概要・年会費等一覧

(平15.11.20)

Table listing club activities and fees: Golf (平井 恒夫), Sports (山口 進吾), Mahjong (下谷内 堯), etc.

(注) (年会費は通信費であり例会開催会費は別途徴収する。)

◆投稿・提案を

お待ちしております。

発行日は、原則、年三回の全体行事の一月前です。発行日前に約一ヶ月の印刷期間が必要です。原稿は発行日の「約一月」前にさかのぼって間に合う時期にお寄せ下さい。

匿名記事はお受けできません。原稿は一行十三字とします。縦書きで右から左へお願いします。

スペース上の理由などから字句の整理や一部の割愛などさせていただきます。ただの場合があります。あらかじめご了承ください。

※次号発行日・四月二十日予定

原稿〆切・三月二十日

事務局または広報委員会(大須賀肇)までお寄せ下さい。

新入会・退会・名簿の正誤・住所移転等のお知らせ

[名簿(平成14年4月発行)、正誤表(平成14年5月20日)及び会報20~23号記載事項]以降(敬称略)

(新入会)

- 1 中島 彪(昭30商)
- 2 三上 京子(昭48文)
- 3 西本 誠(昭58商)
- 4 幸田清和(昭36理工)
- 5 小久保明日香(平11政経)
- 6 秋元 孝禧(昭30商)
- 7 関 国光(昭29商)
- 8 金子 知一(昭59教育)
- 9 桃井 清治(昭44政経)
- 10 菊池 吉晏(昭34政経)
- 11 横山 徹(昭56社会)

個人情報につき不掲載

(退会)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|------------|
| P.77 山中 叶 | P.80 四倉幹木 | P.80 四倉弥生 | P.81 渡部 博 |
| P.38 白石 清 | P.79 吉田三郎 | P.42 高林栄治 | 会報21号 後藤乾一 |
| 会報21号後藤嘉代 | P.40 鈴木利幸 | P.49 手島義雄 | P.26 黒沢嘉幸 |

(住所変更)

- P.58 浜田 正夫

(会報21号) 長谷川義樹

- P.60 原口 国平 (新)

(その他の変更)

- P.46 千葉 彰 (新)

(正誤)

- P.75 矢田 廣 (正) 昭34法 (誤) 昭35法

編集後記

科学技術の高度化と国際化、社会が求める人材の変化や大学の大衆化といった変化する社会に適合するように「大学改革」が叫ばれ、本年4月より89国立大学が「独立行政法人」となり、ますます大学間の競争が激しくなります。

一方母校早大に於ては私立大学として奥島前総長にひきつづき白井新総長のもと「更なる改革」が進められています。

「学生、教員、施設の他に卒業生の社会でのアクティビティ」が大学の価値を評価する尺度となっている現在大学と校友とが一体となって母校の発展に尽力していく事が必要であると思います。

創立125周年(2007年)まであと4年、現在募金目標200億に対し実績60億という段階です。

目標達成にOB・OGの一層のご協力を期待しています。

(〇)